



三井ホーム



th ANNIVERSARY

木造で、 CO₂は 減らせる。^{※1}

あなたは知っていますか？

じつは、建物をつくるとき、鉄やコンクリートより、
木で建てるほうが、CO₂排出量は少ないのです。^{※2}
そして、木はCO₂をぐんぐん吸収して育ったのち、
木材になっても炭素をストックしつづけてくれます。

木の建物は、いわば、炭素の貯蔵庫。^{※3}

これまで250,000棟以上の木造建築をつくってきた
三井ホームの累計炭素固定量は、
およそ383万トンと推定されます。^{※4}

これは、杉の木に換算すると758万本、^{※5}
東京ドーム2,162個分の森林面積が
貯蔵する炭素量にあたります。

私たちは、工法を構造から進化させることで、
これまで木で建てられなかった大規模建築物まで、
どんどん木造に変えていきます。

これからは、木の施設や住まいを選ぶことも、
社会貢献のひとつになっていく。

木造建築の可能性を広げることで、
脱炭素に貢献していく、三井ホームです。

木で建てれば、街は森になる。 三井ホームの木造建築

※1 ①木造建築は、鉄骨造やRC造と比べ建築時のCO₂排出量が少ないこと。
②木材は、炭素を固体として長期間貯蔵することで、大気中のCO₂濃度上昇の抑制に役立つこと。③木材は、高断熱・高気密性により住んでいる間の冷暖房の消費エネルギーを抑えることができること。以上の理由から、建築物における木材の利用を促進することによって、CO₂排出量を抑制できることを表す。※2 自社MOOXION INAGIを鉄筋コンクリート造で建設した場合との比較。※3 三井ホームグループによる実績。(2023年3月末時点) ※4 国土交通省「令和4年度 住宅経済関係データ」(https://www.mlit.go.jp/statistics/details/t-jutaku-2_1k_000002.html) 日本の滅失住宅の平均築後年数38.2年より、1989年3月31日以前に引渡し物件はすべて滅失しているものと仮定して計算に含めず、1985年4月1日以降に引渡しの物件はすべて現存しているものと仮定して試算。(2023年3月末時点) ⑤ 林野庁ホームページ「建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量の表示に関するガイドライン」に基づく試算。<https://www.rinya.maff.go.jp/j/mokusan/mieruka.html> (2023年3月末時点) ※5 林野庁ホームページ「建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量の表示に関するガイドライン」に基づく試算および炭素貯蔵量計算シートによる換算。

&EARTH with WOOD

お問い合わせは
☎ 0120-94-4331 10:00 ~ 17:00
(土・日・祝日を除く)

三井ホーム株式会社 本社 〒163-0453 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル53階
木造建築による炭素固定量を、WEBサイトで公開中。 三井ホーム 木造建築



三井不動産グループ
MITSUI FUDOSAN GROUP

発災時になすべき 備えと行動確認を

内閣府が防災情報

甚大な自然災害が発生するたびに、防災への意識は高まる。しかし実際に被災していなければ時間の経過とともに意識は徐々に薄らぎ、ついには思い出すことも少なくなる。大震災発生から間もない今こそ、災害への備えを確認しておきたい。政府は内閣府から防災情報のホームページを立ち上げ、災害への備え、被災時の行動を示し、国民への理解を求めている。災害発生前に準備しておくこと、そして発生時になすべきことは――。

まず平時時に屋内で

家具の固定や食料備蓄

家具が倒れて下敷きになったり、突っ張り棒で固定した被害者が多く出た。以前、家具の固定は防災で、壁につなぎとめる方法が、いずれも適当に固定しては十分に性能を発揮しないので気を付

けなくてはならない。突っ張り棒で固定するのは天井の強度。天井の強度が十分ないと突っ張り棒が折れてしまう。ネジで固定する場合も、壁の裏に材木が渡っている部分に固定しないと強度が出ない。壁をたいて確認することがあるが、素人判断では判別するのは簡単ではないので、細心の注意が必要だ。

に飛び出すため、寝室の配置にも注意すべきである。

以上地震が発生した場合、室内で家具と同じく留

瞬間に備えたものだが、意識したいのがガラスの飛

散。強化ガラスや合わせガラスにすることで割れ

にくくなるのは確かだが、絶対割れない、という

ことは無い。割れたガラスは飛散して直接ケガ

の原因にもなるが、避難するときにも障害にな

る。水も食料も賞味期限を確認しながら、定期

的に入れ替えなくてはならない。

飲料とは別に生活用水

状況によっては給水車のある程度の水を確保した

到着が遅れることも予想。その際は賞味期限が

される。このためトイレ切れた水でもいいし、浴

槽も洗うまでは常に水を切らさ

なければならない。

状況によっては給水車のある程度の水を確保した

到着が遅れることも予想。その際は賞味期限が

される。このためトイレ切れた水でもいいし、浴

槽も洗うまでは常に水を切らさ

なければならない。

防災グッズチェックリスト（首相官邸 HP をもとに独自作成）

非常用持ち出し袋（リュックサック）に入れるもの

- | | |
|--|--|
| ☐ 水（飲料と生活用水、最低3日分） | ☐ 軍手 |
| ☐ 食品（最低3日分） | ☐ 洗面用具 |
| ☐ ヘルメット、頭巾 | ☐ 歯ブラシ・歯磨き粉 |
| ☐ 衣類、下着 | ☐ タオル |
| ☐ 雨具 | ☐ 筆記用具 |
| ☐ ひもなしズック靴 | ☐ マスク |
| ☐ 懐中電灯 | ☐ 手指消毒用アルコール |
| ☐ 携帯ラジオ | ☐ 石鹸 |
| ☐ 電池、充電器 | ☐ トイレットペーパー |
| ☐ マッチ、ろうそく | ☐ ティッシュ、ウエットティッシュ |
| ☐ 救急用品（包帯、消毒液、常備薬等） | ☐ 体温計 |
| ☐ 使い捨てカイロ | ☐ ブランケット |
| ☐ 非常用簡易トイレ | ☐ 耳栓、アイマスク、エアークッション |
| ☐ 防犯ブザー・ホイッスル | ☐ 布ガムテープ |
| ☐ レジャーシート | ☐ 身体ふきシート |
| ☐ 新聞紙 | ☐ サランラップ（皿を洗わずに済む） |

子どもがいる家庭の備え

- | | |
|----------------------------------|-----------------------------------|
| ☐ ミルク | ☐ 携帯用お尻洗浄器 |
| ☐ 使い捨て哺乳瓶 | ☐ ネックライト |
| ☐ 離乳食 | ☐ 抱っこひも |
| ☐ 携帯カトラリー | ☐ 子どもの靴 |
| ☐ 紙おむつ | ☐ お尻ふき |

女性の備え

- | | |
|----------------------------------|------------------------------------|
| ☐ 生理用品 | ☐ サニタリーショーツ |
| ☐ おりものシート | ☐ 中身の見えるゴミ袋 |

高齢者がいる家庭の備え

- | | |
|----------------------------------|--------------------------------------|
| ☐ 大人用紙パンツ | ☐ 吸水パッド |
| ☐ 杖 | ☐ デリケートゾーン洗浄剤 |
| ☐ 補聴器 | ☐ 持病の薬 |
| ☐ 介護食 | ☐ お薬手帳のコピー |
| ☐ 入れ歯・洗浄剤 | |

以上のほか一緒に持ち出したいもの

- | | |
|---|-----------------------------------|
| ☐ 貴重品（通帳、現金、パスポート、診察券、マイナンバーカード） | ☐ コンタクトレンズ |
| ☐ 携帯電話 | |

地震はいつ何時発生するかはわからない。そのため、日常生活する施設や交通インフラなどでは避難経路を確保しておくことも必要だ。政府は発生時の場所によって災害の身の守り方をアドバイスしている。

まず屋内にいる場合は「倒れかかる家具などから身を守るため、防災頭巾や座布団などで頭を保護しながら、テーブルや机の下に逃げ込んでその脚部分を押しさえましよう」と推奨している。「さらに、ドアを開けるなど脱出経路を確認し、懐中電灯等の明かりも確保しましょう」とも。この

に、寝室に靴を奨励する。過去の震災の例を見ても支援物資が避難所にいきわたるまでは時間がかかる。このため支援物資が届くであろう3日分、できれば1週間分の食料と水は確保したい。飲料水は一人当たり1日3リットル。食料はアルファ米などのご飯、乾パン、ビスケット、板チョコなど。個人差はあるが被災時は1日2食と考えるとよい。水も食料も賞味期限を確認しながら、定期的に入れ替えなくてはならない。

脱出経路確保など 事前の避難準備を

いつ何時発生するか 「その日」考える日と

アドバイスは行動を示すパニックにならないよう。防災・危機管理とともに、防災頭巾や懐中電灯などの準備物も指す」と呼び掛けている。防庁はクイズ形式で親しんでいる。また火災を海辺にいたら避難。津子が楽しめる動画を配信防ぐためにも、ブレーカ波警報が出ていなくても、防災・危機管理を学ぶことは必要だ。高台やビルの上へ避難することが出来る。ガスは自動で供給が止まる。まずは準備物を可能な限り用意し、そして大事だが、電気が使用中の家にいくなどは言語道断と



トイレは避難所に用意されるが、この時も水を持っていくことが奨励されている。汚物を流したり、掃除に必要になったりするからだ。トイレペーパー、ティッシュペーパー、ウェットティッシュなども用意しておきたい必需品だ。このほか、薬や日用品など非常用に持ち出すべきものはリュックサックに入れておくこと。そして非常用のリュックサ

状況によっては給水車のある程度の水を確保した持ち出しやすいところに到着が遅れることも予想。その際は賞味期限が置いて、その収納場所は、このためトイレ切れた水でもいいし、浴槽も洗うまでは常に水を切らさなければならない。

家は、生きる場所へ。

伸びやかな高い天井が叶えてくれたのは、
かつてない開放感。
軒先へとつながる水平ラインの先には青空が広がり、
天井いっぱいの大きな窓から入る心地よい木漏れ日と涼やかな風が、
自然との一体感を愉しませてくれる。
床や天井、家具による自然素材が織りなす風合いは、
穏やかな居心地をつくり出し、
上質なくつろぎの時間を与えてくれる。

私たちは、住まう人が思い描く理想の「生き方」に寄り添い、
その「生き方」をデザイン。
住まいを通して、
日々の暮らしを豊かに彩ることを大切にしています。

LiveStyle Design

リブスタイルデザインの大和ハウス。

※商品改良のため、仕様・デザインを予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。



上質な存在感を放つ
美の私邸。

MARE
WOOD RESIDENCE
[RC造×木造]



ゆとりある天井高で
地震にも強い。

xevoΣ
[軽量鉄骨造]



日本の伝統建築の
考え方を受け継ぐ。

xevo GranWood
[木造]



快適なトシナカ生活を叶え
併用住宅にも。

s k y e
[重量鉄骨造]

あなたの理想の「生き方」を
私たちにお聞かせください。

あなたや家族の生き方に寄り添って、
私たちが家づくりをご提案いたします。

※お近くの展示場については、ホームページにてご確認ください。



共に創る。共に生きる。

—— 大和ハウスの住宅事業は、グループの総合力であなたをサポートします ——



Daiwa House
大和ハウスグループ
大和ハウス工業



Daiwa Real Estate
大和ハウスグループ
大和ハウスリアルエステート



Daiwa Reform
大和ハウスグループ
大和ハウスリフォーム



Daiwa Lantec
大和ハウスグループ
大和ランテック



DesignArc
Daiwa House Group®
デザインアーク

令和6年能登半島地震による被害状況
(2月28日14時時点、政府非常災害対策本部資料に基づき作成、応急仮設住宅は石川県発表に基づく)

	人的被害 (人)			住宅被害 (棟)			応急仮設住宅 (戸)	
	死者	重傷者	軽傷者	全壊	半壊	一部破損	着工	入居
新潟県		5	44	101	2,688	16,261		
富山県		3	44	177	542	11,031	3,522	302
石川県	241	312	876	7,459	9,460	29,638		
その他6県			15		11	330		
計	241	320	979	7,737	12,681	57,260	3,522	302

能登半島地震で 政府が支援強化

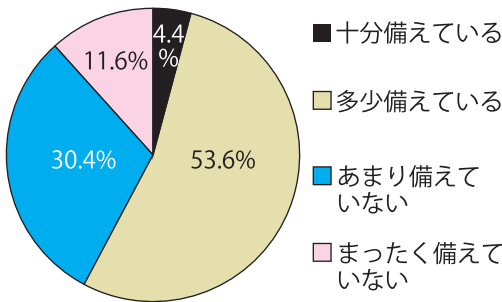
非常災害対策本部で

1月に発生した能登半島地震の被害状況が明らかになった。死者負傷者は1500人を超え、住宅被害は全壊・半壊合わせて2万棟超、一部損壊を含めると7万7千棟を超えた。政府の非常災害対策本部が明らかにしたインフラなどの資本ストックの損壊額は最大2兆6千億円にのぼるといわれている。被災地では応急仮設住宅の着工も進み、復旧に向けた動きは本格化しているが、被災者が失った生活基盤はあまりにも大きい。

損壊した資本ストックは、同1兆3千億円と試算されている。住宅について内閣府は、住宅以外の建築物、道路や水道、港湾施設など社会資本の3種で建てられた木造住宅が多い。このうち住宅の損壊額は、1981年以前の旧耐震基準で建てられた木造住宅が、最大9千億円、住宅以外の建築物は、同4千億円、社会資本は、同1兆3千億円と試算されている。住宅については、同1兆3千億円と試算されている。住宅については、同1兆3千億円と試算されている。

「生活再建」「生業再生」「災害復旧」三本柱に

アルバリンク調査
「地震・津波などの災害に自宅に備えている」



アンケートによると、地震・津波などの災害に備えている理由として「親が災害経験者」が最も多かった。また、地震・津波などの災害に備えている理由として「親が災害経験者」が最も多かった。

「心配性な自分の不安を軽減させるために備えています。また小さな子どもがいて緊急時に身軽に動けないので、普段から気にするようにしています」(30代女性)、「可能な限り不便な思いをせずに過ごしたいから」(40代女性)、「静岡県在住で大地震が来るというので、地震に對する備えをしている」(40代男性)などの声が寄せられた。これに對し災害に備えていない理由としては「いつくるかわからないもの」(20代女性)、「東日本大震災で大きな被害を受けたので、大きな災害に備えるようにしました」(30代男性)、「心配性な自分の不安を軽減させるために備えています。また小さな子どもがいて緊急時に身軽に動けないので、普段から気にするようにしています」(30代女性)、「可能な限り不便な思いをせずに過ごしたいから」(40代女性)、「静岡県在住で大地震が来るというので、地震に對する備えをしている」(40代男性)などの声が寄せられた。

また「地震・津波などの災害に備えていない理由としては「いつくるかわからないもの」(20代女性)、「東日本大震災で大きな被害を受けたので、大きな災害に備えるようにしました」(30代男性)、「心配性な自分の不安を軽減させるために備えています。また小さな子どもがいて緊急時に身軽に動けないので、普段から気にするようにしています」(30代女性)、「可能な限り不便な思いをせずに過ごしたいから」(40代女性)、「静岡県在住で大地震が来るというので、地震に對する備えをしている」(40代男性)などの声が寄せられた。これに對し災害に備えていない理由としては「いつくるかわからないもの」(20代女性)、「東日本大震災で大きな被害を受けたので、大きな災害に備えるようにしました」(30代男性)、「心配性な自分の不安を軽減させるために備えています。また小さな子どもがいて緊急時に身軽に動けないので、普段から気にするようにしています」(30代女性)、「可能な限り不便な思いをせずに過ごしたいから」(40代女性)、「静岡県在住で大地震が来るというので、地震に對する備えをしている」(40代男性)などの声が寄せられた。

また「地震・津波などの災害に備えていない理由としては「いつくるかわからないもの」(20代女性)、「東日本大震災で大きな被害を受けたので、大きな災害に備えるようにしました」(30代男性)、「心配性な自分の不安を軽減させるために備えています。また小さな子どもがいて緊急時に身軽に動けないので、普段から気にするようにしています」(30代女性)、「可能な限り不便な思いをせずに過ごしたいから」(40代女性)、「静岡県在住で大地震が来るというので、地震に對する備えをしている」(40代男性)などの声が寄せられた。これに對し災害に備えていない理由としては「いつくるかわからないもの」(20代女性)、「東日本大震災で大きな被害を受けたので、大きな災害に備えるようにしました」(30代男性)、「心配性な自分の不安を軽減させるために備えています。また小さな子どもがいて緊急時に身軽に動けないので、普段から気にするようにしています」(30代女性)、「可能な限り不便な思いをせずに過ごしたいから」(40代女性)、「静岡県在住で大地震が来るというので、地震に對する備えをしている」(40代男性)などの声が寄せられた。

不動産売買・仲介・鑑定のアリバリンク(東京都江東区)が能登半島地震発生後の1月19日、21日に実施したアンケート「地震・津波などの災害に備えていること」によると「十分に備えている」との回答はわずか4.4%、「多少備えている」が53.6%にと

どまっていることが明らかになった。経済的な負担増や継続できないことを理由に備えていないほか、自然災害を他人事としてとらえている人が多数いることが浮き彫りになった。アンケートはインターネットによる任意回答で全国から有効回答数500人を得た。

「心配性な自分の不安を軽減させるために備えています。また小さな子どもがいて緊急時に身軽に動けないので、普段から気にするようにしています」(30代女性)、「可能な限り不便な思いをせずに過ごしたいから」(40代女性)、「静岡県在住で大地震が来るというので、地震に對する備えをしている」(40代男性)などの声が寄せられた。これに對し災害に備えていない理由としては「いつくるかわからないもの」(20代女性)、「東日本大震災で大きな被害を受けたので、大きな災害に備えるようにしました」(30代男性)、「心配性な自分の不安を軽減させるために備えています。また小さな子どもがいて緊急時に身軽に動けないので、普段から気にするようにしています」(30代女性)、「可能な限り不便な思いをせずに過ごしたいから」(40代女性)、「静岡県在住で大地震が来るというので、地震に對する備えをしている」(40代男性)などの声が寄せられた。

また「地震・津波などの災害に備えていない理由としては「いつくるかわからないもの」(20代女性)、「東日本大震災で大きな被害を受けたので、大きな災害に備えるようにしました」(30代男性)、「心配性な自分の不安を軽減させるために備えています。また小さな子どもがいて緊急時に身軽に動けないので、普段から気にするようにしています」(30代女性)、「可能な限り不便な思いをせずに過ごしたいから」(40代女性)、「静岡県在住で大地震が来るというので、地震に對する備えをしている」(40代男性)などの声が寄せられた。これに對し災害に備えていない理由としては「いつくるかわからないもの」(20代女性)、「東日本大震災で大きな被害を受けたので、大きな災害に備えるようにしました」(30代男性)、「心配性な自分の不安を軽減させるために備えています。また小さな子どもがいて緊急時に身軽に動けないので、普段から気にするようにしています」(30代女性)、「可能な限り不便な思いをせずに過ごしたいから」(40代女性)、「静岡県在住で大地震が来るというので、地震に對する備えをしている」(40代男性)などの声が寄せられた。

住宅被害、旧耐震多数に

住宅は全国で1万戸以上を確保し、一部で入居が始まった。ただ被災者は当面の住まひは確保できるものの、将来にわたって自立するためには、自宅の再建、確保は避けられない。住宅ローン負担、再建への補助などが気になる。政府は珠洲市や輪島市など石川県内の6市町で自宅が半壊以上の被害を受けた被災者に、建て替え資金として最大300万円を支給する。高齢返済金の払込みの据置(り災)

住宅は全国で1万戸以上を確保し、一部で入居が始まった。ただ被災者は当面の住まひは確保できるものの、将来にわたって自立するためには、自宅の再建、確保は避けられない。住宅ローン負担、再建への補助などが気になる。政府は珠洲市や輪島市など石川県内の6市町で自宅が半壊以上の被害を受けた被災者に、建て替え資金として最大300万円を支給する。高齢返済金の払込みの据置(り災)

住宅は全国で1万戸以上を確保し、一部で入居が始まった。ただ被災者は当面の住まひは確保できるものの、将来にわたって自立するためには、自宅の再建、確保は避けられない。住宅ローン負担、再建への補助などが気になる。政府は珠洲市や輪島市など石川県内の6市町で自宅が半壊以上の被害を受けた被災者に、建て替え資金として最大300万円を支給する。高齢返済金の払込みの据置(り災)

住宅は全国で1万戸以上を確保し、一部で入居が始まった。ただ被災者は当面の住まひは確保できるものの、将来にわたって自立するためには、自宅の再建、確保は避けられない。住宅ローン負担、再建への補助などが気になる。政府は珠洲市や輪島市など石川県内の6市町で自宅が半壊以上の被害を受けた被災者に、建て替え資金として最大300万円を支給する。高齢返済金の払込みの据置(り災)

住宅は全国で1万戸以上を確保し、一部で入居が始まった。ただ被災者は当面の住まひは確保できるものの、将来にわたって自立するためには、自宅の再建、確保は避けられない。住宅ローン負担、再建への補助などが気になる。政府は珠洲市や輪島市など石川県内の6市町で自宅が半壊以上の被害を受けた被災者に、建て替え資金として最大300万円を支給する。高齢返済金の払込みの据置(り災)

災害備え未だ6割

アルバリンク調査

害に自宅で備えていること」の1位は「水・食料の備蓄」となった。2位は「避難所・避難経路の確認」

MISAWA

防災・減災住宅は、ミサワホーム。

ちょっとした揺れなのに、過剰に反応してしまう。豪雨のニュースに、家や家族が心配になる。

ミサワホームは、災害大国・日本のご家族に、ひとつ上の安全・安心をご提案します。

平常時から災害発生時、発生後まで3段階の防災・減災ソリューション「MISAWA-LCP」。

ふだん快適に暮らせる住まいが、そのとき、避難所としての役割を果たしてくれます。

1st
SAFETY
SOLUTIONS
備えるデザイン

2nd
SAFETY
SOLUTIONS
守るデザイン

3rd
SAFETY
SOLUTIONS
支えるデザイン

MISAWA-LCP

備える▶守る▶支える[防災・減災ソリューション]

MISAWA
Life
Continuity
Performance

先進の防災・減災ソリューションを詳しくご紹介した「MISAWA-LCP」カタログを差し上げます。

HP ホームページ www.misawa.co.jp/catalog/ ハガキ(住所・氏名・年齢・電話番号を明記)
〒163-0833 東京都新宿区西新宿2-4-1 私書箱6111号 ミサワホーム株式会社「LCP」K係

※当社では、お客様の個人情報を、建築・リフォーム工事、不動産取引に関する情報・サービス案内のお届け、訪問、各種プランのご提案、アンケート調査等の実施目的で利用いたします。その他詳細は、www.misawa.co.jp/privacyをご覧ください。

詳しくはWEBで 検索

住まいを通じて生涯のおつきあい

新しい暮らしをデザインします

ミサワホーム

価値と快適をデザインします

ミサワリフォーム

賃貸経営から介護・福祉事業
複合土地活用まで

ミサワ資産活用

災害に強く安全で快適な住まい提供

旭化成 ホームズ ロングライフシリーズ



建物の被害状況即時推定 復旧サポート対応強化も

旭化成ホームズなど旭化成グループと、国立研究開発法人防災科学技術研究所（防災科研）が共同で運用するIoT防災情報システム『LONG LIFE AEDGIS（ロングライフエイジス）』。地震発生時の建物の被害状況を即時推定する。これまで、システムの有効性を検証しながら、運用エリア拡大を進めてきた。ロングライフエイジスとは、地震発生後の建物

被害レベルや液状化の発生状況を、邸別に推定するシステムのこと。構築にあたって、一定数の戸建住宅『ヘーベルハウス』と集合住宅『ヘーベルメゾン』に設置した、地震計の地震動観測データ、防災科研の知見を生かして整備した地盤データベースを活用。地震動伝達に関する高速演算手法を組み合わせて、地震発生後10分から2時間程度で状況が把握できる

ようになっていく。

普及にあたっては、システム構築の第1フェーズとして、23区内に建つ旭化成ホームズ供給の戸建住宅『ヘーベルハウス』

166棟に対する地震計設置が完了。さらに、22年度からは第2フェーズとして、旭化成ホームズがヘーベルハウスを展開する全エリア（21都府県）での運用を行っている。大地震発生時は、どこでどのような被害が発生

しているかを、正確かつ迅速に把握する必要がある。これは、その後の応急・復旧・復興のスピードにも影響する。同システムの運用が始まれば、災害時のサポート体制の強化が期待できる。

旭化成ホームズは、これまでも戸建住宅全棟への制震構造の標準採用など、業界に先駆けた取り組みを行っており、今回もその一環。2019年には「ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞2019）」で、最優秀レジリエンス賞を受賞している。

防災科研は、強震観測網（K-NET、KiK-net）の観測データに基づき、大地震のような広域災害時に、被害全体をリアルタイムに推定し状況を把握する地震被害推定システム「J-RISK」を構築。今後、旭化成グループと防災科研は、その予測結果を取り込み、システムの一層の高度化を進めていく。

また、現在両社は地震発生後の個別建物被害レベルの推定に向けた研究に加え、防災におけるSNS情報の活用に向けた共同研究を進めており、引き続き地震災害時の迅速な復旧・復旧支援の強化に取り組んでいく。

住友林業ビッグフレームレジリエンス



高い耐震性と快適さ両立 平屋住宅の対応力も強み

各部屋間の火災拡大を抑制する。一般の木造住宅に比べて火災に強く、火災保険料が割安です。大型化する最近の台風にも耐える性能も、実大モデルで実証済み。

ライフラインが遮断された非常時にも、エネルギーの自給自足や充実した備蓄スペースなど、家族の命を守るシェルターとして、その防災力を発揮。復旧までの一定期間生活を続けられる機能を備えるとともに、より快適で安全な日々の暮らしも提供する。

具体的には、太陽光発電（PV）システムや蓄電池を備え、災害時の停電に對し必要な電力を確保。平常時は毎日の必要な電気を自家発電で賄い、地球に家計にやさしい暮らしを実現できる。近年、住友林業では平屋を検討する方も増えてきており、同じ延べ床面積なら屋根の面積が2階建てよりも広く取れるため、太陽光パネルの設置容量も増やしやすい。初期投資はかかるが、日々の光熱費は節約できる。

さらに、断水時の生活用水のための雨水タンク、屋根下の空間の有効活用、大量の備蓄品が収納可能な小屋裏収納も設定している。

住友林業のビッグフレーム（BF）構法の戸建住宅『BIG FRAME RESILIENCE（ビッグフレームレジリエンス）』は、耐震性の高い構造に、さまざまな災害対応設備を搭載することで、防災力を高めた住まい。日本の気候風土に最適な木造住宅を独自のテクノロジーで革新することで、格段に強度を高めるとともに、3階建ての実大モデル

時の快適性も実現した木の家となっている。BF構法は、同社が開発した日本初の梁勝ちラーメン構造。主要構造材に、一般的な105ミリ角の柱の5倍もある「ビッグコラム（大断面集成材）」を用いるとともに、接合部を金属同士で緊結する「メタルタッチ接合」を採用し、構造躯体を強く一体化する。

実験で、東日本大震災や阪神・淡路大震災級の震度7クラスの地震波や強い余震波を、繰り返し耐えたと246回もの加振に耐えたことで、構造躯体の耐震性が維持され続けることを確認している。

住宅金融支援機構の「省令準耐火構造」基準にも標準仕様で対応。壁や天井の内部を区分する「ファイヤーストップ構造」により、上下階間や

HEBEL HAUS

ALL for LONGLIFE

自分らしい生き方に、
住まいを合わせていく時代へ。

価値観やライフスタイルが多様化するいま、
1つの住まいを家族代々住み続ける人もいれば、
マンションから賃貸住宅へ、
戸建住宅からマンションへ、
ライフステージや目的に応じて住み替える人も
いらっやいます。
住まいに縛られることなく自分らしい生き方に、
住まいを合わせていく。
そんな自由で豊かな暮らしを実現するために、
わたしたちは、家族のこと、
資産のこと、社会のこと
あらゆることを考え抜き、最適な答を
ご提案いたします。



各種資料のご請求・お問い合わせ先
下記電話番号またはメールアドレス宛にお問い合わせください。
TEL: **03-6899-3010** (土日祝除く9:00~18:00)
FAX: **03-6899-3400**
✉ j-koho@om.asahi-kasei.co.jp

〒101-8101 東京都千代田区神田神保町1-105
神保町三井ビルディング7階
旭化成ホームズ株式会社 広報室

※当社個人情報お取り扱いに関しては下記サイトを
ご覧ください。
https://www.asahi-kasei.co.jp/j-koho/privacy.html/?link_id=AH_footer28

住宅が欲しい

ロングライフ思想を掲げて半世紀。
良質で長持ちする注文住宅や既存住宅をご提供いたします。



注文住宅

ハーベルハウス

都市型住宅の先駆者。理想のマイホームを
フルオーダーメイドで建てるができます。



既存住宅

ストックハーベルハウス

暮らしの安心と快適を実現する
もうひとつの住まいの選択肢です。

部屋を借りたい

高い居住性能と充実した設備を兼ね備えた賃貸物件をご提供。
暮らしにぴったりなお部屋がきっと見つかります。



お部屋探し

ハーベルメゾン

様々なライフスタイルにあわせた物件を
取り揃えています。



お部屋探し(シニア向け)

ハーベルVillage^{ヴィレッジ}

介護施設ではなく、自立して暮らせる
シニア向けの賃貸住宅をお探し頂けます。

土地を活用したい

相続税対策や資産形成など、目的にあわせて
最適な土地活用プランをご提案させていただきます。



賃貸住宅

ハーベルメゾン

高い防災力をもつ安全安心な
賃貸住宅経営。
狭小の住宅地から大規模な
敷地まで対応可能です。



賃貸住宅 (シニア向け)

ハーベルVillage^{ヴィレッジ}

超高齢社会のニーズを捉えた
賃貸住宅経営。
土地活用をととして社会に
貢献できます。



中高層ビルディング

ハーベルビルズ

最大8階建ての中高層
ビルディングの賃貸経営。
賃貸マンション・店舗・
オフィスなどへ展開可能です。

災害に強く安全で快適な住まい提供

積水ハウスグリーンファーストゼロ



空間、水・食料・エネルギーを確保でき、生活が続けられる住まい。災害が起きた際に、建物自体のレジリエンス性によって、まずはオーナーの安全を確保。その上で、オリジナルデータ管理システム「災害訪問アプリ」や物流ネットワークを駆使して、安否や被災の状況を把握する。その上で、全国の工場を地域復旧支援の拠点として、居住者の暮らしを復旧させるための体制を整える。

11年の東日本大震災では迅速に対策本部を設置、発生3時間後には支援物資の輸送を開始。また、19年の千葉県南部を襲った台風15号では発生から3日程度で被災エリアの全オーナー（建築主）宅の被害状況の確認と被災した300棟の初期対応を完了させた。

ゼロエネ住宅で災害備え

地球温暖化防止にも貢献

積水ハウスが推進する『グリーンファースト・ゼロ』とは、住まいそのものの強靱さに加え、同社グループの災害時サポート体制でレジリエンス性を高めた防災ゼロエネルギーハウスを指す。同社では、この考え方に基づく防災性に優れたゼロエネ住宅の普及により、気候変動に伴う激甚災害への備えと地球温暖化防止に貢献する住まいづくりを推進し、ESG経営でも発電可能な燃料電池のリーディングカンパニーを目指していく。

同社の防災ゼロエネルギーハウスとは、地震や台風をはじめとするさまざまな自然災害に対して、まず建物自体が災害に耐えられる頑丈さを備え、かつ被災後にも生活

へ。これに、PVや燃料電池で発電した余剰電力を蓄えておくことができる。蓄電池との3電池連携システムがあれば、停電が複数日にわたって続いても、非常に近い暮らしが行える。

同社では、2004年に蓄電池を初めて住宅に標準搭載し、災害時の自立生活を目指した「省エネ・防災住宅」を発売。11年には太陽電池・燃料電池・蓄電池の「3電池」を日本で初めて連携制御した「グリーンファースト・ハイブリッド」を商品化した。以降、早期から住まいのレジリエンス強化に取り組み、グリーンファースト・ゼロでもこれを深化させながら推進している。

レジリエンス技術を結集 2次災害へ十分な備えも



大和ハウス工業 災害に備える家

大和ハウス工業が防災・日間の停電に対応できる「全天候型3電池連携システム」の搭載②エネルギー吸収耐力壁「Kyurek（キュレック）」により、持続型耐震の性能を向上③飛来物の衝突による割れに強い「防災防犯ガラス」を採用④の3点。

「全天候型3電池連携システム」は太陽光発電システムとエネファームで発電した電力を家庭用リチウムイオン蓄電池に蓄え、家庭内で使うことができるのが大きな特徴は①雨天でも約8

耐震性能については独自開発した耐力壁「キュレック」が大地震発生時の内外装の損傷を軽減する。キュレックの構造体に組みこまれた二つの「Σ形デバイス」が揺れにあわせて上下にしっかりと動くことで、地震エネルギーを吸収する。「キュレック」を採用したジューイングマスプラスタ仕様が装備すると、同社の従来商品よりも建物変形量を最大2分の1に抑えることも可能になる。

「防災瓦」「防災防犯ガラス」は飛来物が衝突した際の破損を軽減する。防災瓦「ROOGA（ルーガ）」は強靱性のある割れにくい材質を採用して衝撃を吸収するとともに、一般的な陶器製平瓦と比べて重量が2分の1以下と軽量。飛来物の衝撃に強いだけでなく、地震の揺れも軽減できる。「防災防犯ガラス」は2枚の板ガラスで従来の2倍にあたる厚さ1・52ミリの合成樹脂を挟み、熱と圧力で圧着する。これにより飛来物の衝撃に強い耐貫通性を発揮。破片の飛散を防ぎ、けがの防止にもつながるほか、防犯上のメリットも大きい。

Good NeighborWood

森と人は、良き隣人になろう。

もっと高く、もっと速く。

何と競っていたのだろう。

世界が成長することは、二酸化炭素を出すことでした。

ここから変わる。

木から離れた人間は、もう一度木に戻る。

二酸化炭素を減らすには、木の力が本当に必要だから。

森と良き隣人になろう。

木の力と人の力で、互いに長く生きてみよう。

それは今あなたが思う幸せに、

案外近いのではないだろうか。

木と生きる幸福



住友林業

災害に強く安全で快適な住まい提供

ミサワ
ホーム
スマートスタイル・ルーミエ



太陽光や高断熱仕様採用 家族愉しみながら未来に

を重視した。

在宅ワークと家事を両立する空間提案

も特徴の一つ。「スイッチワーク」は家事動線上に設けたスペースで仕事とプライベートを素早く切り替えられる。Web会議やリモート学習に集中できる「フ

ォークスワーク」、そして発想の転換を促す「リチャージワーク」を合わせた3

タイプを提案する。また太陽光発電設備や高断熱性能を有し、標準でZEH仕様として、環境と家計にも優しく、エンカル志向の消費者に歓迎され

そうだ。

ルーミエは、企画商品にありがちな画一性を避けるためプランや間取り、外観、インテリア、キッチン・サニタリーを豊富に取り揃えており、家族の好みやライフスタイルに合わせた家づくりを可能としている。コンパクトにまと

った住まいは近居の暮らしにも最適となるもの。ミサワホームは、全国40カ所に分譲住宅を建設し、建物を見ながら検討できるような体制を整えている。

ミサワホームの「SMART STYLE Roomie（スマートスタイル ルーミエ）」は「家族の今を愉しみながら未来につなぐ、サステナブルな住まい」をコンセプトに一般地域向け22プラン、多雪地域向け10プランを揃え、ミレニアル世代の共働き子育て世帯の暮らしを想定した。

その特徴はリビング・ダイニングを軸に暮らす住まいの提案。玄関からすぐリビングにつながる「センターリビング」＝写真＝動線が、家族のコミュニケーションを生む仕掛けだ。またリビングを屋内だけでなく屋外にも設けた「デュアルリビング」はダイニングを軸に展開。玄関からリビング・ダイニング、アウトリビングまで約2・7

坪の高天井でシームレスに集約し、各部屋は広さ

三井
ホーム
IZM
（イズム）



半戸外空間「ラナイ」提案 建物内外ボーダーレスに

三井ホームの「IZM（イズム）」は、「脱炭素社会のモダンデザイン」をテーマに商品化した、独自のプレミアム・モノ

ック構法の住まい。近年の環境意識の高まりや多様化するニューノーマルな暮らしのニーズに対応し、ZEH水準の断熱性・省エネ性能を備えた。水平・垂直など、直線

ベースに、直線基調の外観デザインを構成する要素の一つが、独自開発の屋根型「ウイングルー

フ」。道路側から建物を見上げた際に、風雨から外壁を守る深い軒がありながら屋根の存在を際立たせないシンプルなファ

サードが特徴だ。これで、高い発電効率を維持しつつ屋根の存在を弱め、太陽光発電パネルが見えな

いようにしたいとのニーズに込められている。さらに、外からの視線を遮るプライバシーウォールを生かし、家の中と外がボーダーレスにつながる半戸外「ラナイ」を提案。屋外の快適さを

提案。素材に「日本六古窯」の信楽焼の窯で焼いたオリジナルのデザインタイルを切り替えながら屋外ワークも可能な「スカイラナイ」も用意

した。一人の時間も家族との時間も大切にしつつ、ライフスタイルに合わせた多彩な暮らしが可能としている。

在宅ワークが日常化する中、気分転換しつつ生産性を高められるように、さまざまな場所にワークスペースを点在させた。2階にはスロープシーリングで明るく開放的な「ワークスタジオ」を設置。集中作業やリモート会議などに適した個室空間とした。

ラナイやリフレックススタジオを隣接させることで、ONとOFFを切り替えながら仕事に取り組める。



積水ハウスは、 「長く住み続けたい家」へ

これからの時代、
本当に必要なものってなんだろう。

そんな思いから、安全や環境に配慮した
「長く住める家」を供給してきた積水ハウスでは、
新たなデザイン思想「life knit design (ライフ ニット デザイン)」に
基づく家づくりを進めています。

何が好きか、何に惹かれるか、何を心地よいと感じるか。
そんな一人ひとりの“感性”を住まいへと編み込み、
暮らすほどに愛着が増えていく「長く住み続けたい家」を。

住まいは、人生に豊かさを与えてくれる
感性の器のような場所にもなりうる。
そう信じる私たちは、この新しい家づくりを通して、
グローバルビジョン『「わが家」を世界一幸せな場所にする』を
実現していきます。



life knit design

<https://www.sekisuihouse.co.jp/kodate/lkd>

